

# 平成23年度地方公営企業決算の概況

## 総論

### 1 事業数 平成23年度末現在 90事業

平成23年度末の市町および一部事務組合が経営する地方公営企業の事業数は、90事業（法適用企業33事業、法非適用企業57事業）で前年度末と同様である。

事業別では、下水道事業が37事業で最も多く、次いで水道事業が23事業（上水道：19事業、簡易水道：4事業）で、これらで全体の約7割を占めている。

過去5年間の推移では、平成19年度末の事業数と比較して25事業、21.7%減少している。これは、市町村合併により公営企業でも合併が進んだためである。

#### 【事業数の推移】

（単位：事業）

事業	年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度(A)	23年度(B)	(B)-(A)
法適用事業	上水道	22	22	19	19	19	—
	下水道	—	—	—	1	1	—
	公共下水道	—	—	—	1	1	—
	病院	10	10	9	9	9	—
	ガス	1	1	1	1	1	—
	介護サービス	4	4	3	3	3	—
	計	37	37	32	33	33	—
法非適用事業	簡易水道	9	9	4	4	4	—
	下水道	47	47	37	36	36	—
	公共下水道	24	24	19	18	18	—
	農業集落排水	20	20	15	15	15	—
	林業集落排水	1	1	1	1	1	—
	小規模集合排水処理	1	1	1	1	1	—
	個別排水処理	1	1	1	1	1	—
	と畜場	—	—	—	—	—	—
	宅地造成	8	7	6	5	5	—
	観光施設	1	—	—	—	—	—
	駐車場整備	2	2	2	2	2	—
	市場	2	2	2	2	2	—
	介護サービス	9	9	8	8	8	—
	計	78	76	59	57	57	—
合計		115	113	91	90	90	—

法適用事業：地方公営企業法の全部または財務規定等を適用している事業であり、経理事務を企業会計方式で行っているもの。

法非適用事業：地方公営企業法の規定を適用していない事業であり、経理事務を官庁会計方式で行っているもの。

## 2 職員数

平成23年度末現在5,646人(112人増、2.0%増)

平成23年度末における職員数は5,646人で、前年度末に比べ112人(2.0%増)増加している。

事業別では、病院事業が4,694人で最も多く、全体の83.1%を占めている。次いで水道事業(簡易水道を含む)399人、下水道事業262人となっている。

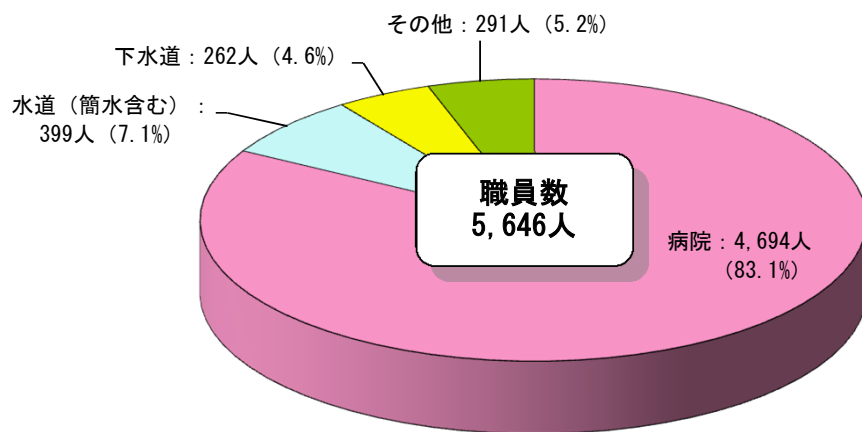
過去5年間の推移では、平成19年度末の職員数と比較して166人(3.0%増)増加している。

【職員数の推移】

(単位：人・%)

事業	年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度(A)	23年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		435	423	415	395	386	△9	△2.3
簡易水道		23	24	13	11	13	2	18.2
病院		4,392	4,362	4,492	4,573	4,694	121	2.6
ガス		123	125	130	124	124	0	0.0
下水道		314	294	287	273	262	△11	△4.0
と畜場		—	—	—	—	—	0	0.0
宅地造成		5	5	4	2	2	0	0.0
観光施設		2	—	—	—	—	0	0.0
駐車場整備		0	0	0	0	0	0	0.0
市場		14	12	14	14	13	△1	△7.1
介護サービス		172	175	130	142	152	10	7.0
合計		5,480	5,420	5,485	5,534	5,646	112	2.0

図1 平成23年度事業別職員数



その他：ガス事業、宅地造成事業、駐車場整備事業、市場事業、介護サービス事業

### 3 決算規模 2,017億2百万円（84億33百万円増、4.4%増）

平成23年度の決算規模は2,017億2百万円で、前年度に比べ84億33百万円（4.4%増）増加している。これは、建設改良事業の増加（67億44百万円増）に伴い、資本的支出が増加したこと等によるものである。

事業別では、病院事業が834億39百万円で最も多く、全体の41.4%を占めている。次いで下水道事業614億54百万円、水道事業（簡易水道を含む）346億10百万円となっている。

#### 【決算規模の推移】

（単位：百万円・%）

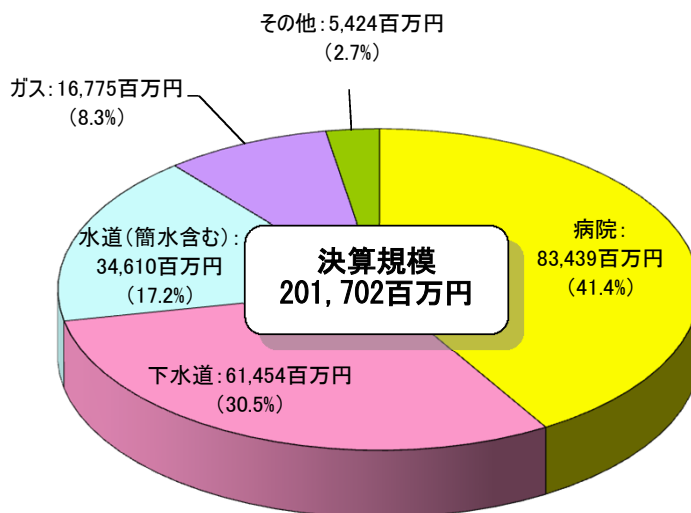
事業	年度	平成22年度 (A)	平成23年度 (B)	構成比	増減額 (B)-(A)	増減率
上水道		32,817	33,523	16.6	706	2.2
簡易水道		884	1,087	0.5	203	23.0
病院		71,649	83,439	41.4	11,790	16.5
ガス		15,659	16,775	8.3	1,116	7.1
下水道		63,766	61,454	30.5	△ 2,312	△ 3.6
と畜場		0	0	0.0	0	0.0
宅地造成		5,070	1,529	0.8	△ 3,541	△ 69.8
観光施設		0	0	0.0	0	0.0
駐車場整備		991	876	0.4	△ 115	△ 11.6
市場		474	461	0.2	△ 13	△ 2.7
介護サービス		1,959	2,558	1.3	599	30.6
計		193,269	201,702	100.0	8,433	4.4

（注）決算規模の算出は次のとおりとした。

法適用企業：総費用－減価償却費＋資本的支出

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

図2 平成23年度地方公営企業決算規模の状況



その他：宅地造成事業、駐車場整備事業、市場事業、介護サービス事業

#### 4 経営状況 36億37百万円の黒字（52億29百万円黒字幅が縮小）

平成23年度の総収支額は36億37百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字幅が52億29百万円（59.0%）縮小した。黒字事業は84事業で全体の93.3%、赤字事業は6事業で全体の6.7%である。

事業別にみると、水道事業（簡易水道を含む）、下水道事業、ガス事業などが黒字で推移している。病院事業については、9事業（団体）のうち6事業において黒字となっているが、減価償却費の計上不足による過年度損益修正損（特別損失）の計上により、事業全体では28億16百万円の赤字となった。

##### 【事業別収支の状況】

（単位：事業）

事業	年度	平成22年度 (A)			平成23年度 (B)			対前年度増減 (B)-(A)		
		黒字	赤字	計	黒字	赤字	計	黒字	赤字	計
法適用事業	上水道	15	4	19	18	1	19	3	△3	0
	下水道	1	—	1	1	0	1	0	0	0
	病院	6	3	9	6	3	9	0	0	0
	ガス	1	0	1	1	0	1	0	0	0
	介護サービス	0	3	3	1	2	3	1	△1	0
	小計	23	10	33	27	6	33	4	△4	0
法非適用事業	簡易水道	4	0	4	4	0	4	0	0	0
	下水道	36	0	36	36	0	36	0	0	0
	と畜場	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	宅地造成	5	0	5	5	0	5	0	0	0
	観光施設	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	駐車場整備	2	0	2	2	0	2	0	0	0
	市場	2	0	2	2	0	2	0	0	0
	介護サービス	8	0	8	8	0	8	0	0	0
	小計	57	0	57	57	0	57	0	0	0
	合計	80	10	90	84	6	90	4	△4	0

（注）黒字・赤字の判断は、法適用企業は純損益、法非適用企業は実質収支による。

##### 【事業別総収支額】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成22年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	増減率
法適用事業	上水道	2,033	1,713	△320	△15.7
	下水道	1,475	2,024	549	37.2
	病院	2,657	△2,816	△5,473	△206.0
	ガス	1,461	1,437	△24	△1.6
	介護サービス	△31	△380	△349	1,125.8
	小計	7,595	1,978	△5,617	△74.0
法非適用事業	簡易水道	160	204	44	27.5
	下水道	898	1,133	235	26.2
	と畜場	—	—	0	0.0
	宅地造成	163	62	△101	△62.0
	観光施設	—	—	0	0.0
	駐車場整備	3	5	2	66.7
	市場	12	15	3	25.0
	介護サービス	35	240	205	585.7
	小計	1,271	1,659	388	30.5
	合計	8,866	3,637	△5,229	△59.0

（注）収支額は、法適用企業にあつては純損益、法非適用企業にあつては実質収支による。

## 5 累積欠損金 327億75百万円（35億83百万円増、12.3%増）

平成23年度末の累積欠損金は327億75百万円で、前年度に比べ35億83百万円（12.3%増）増加している。

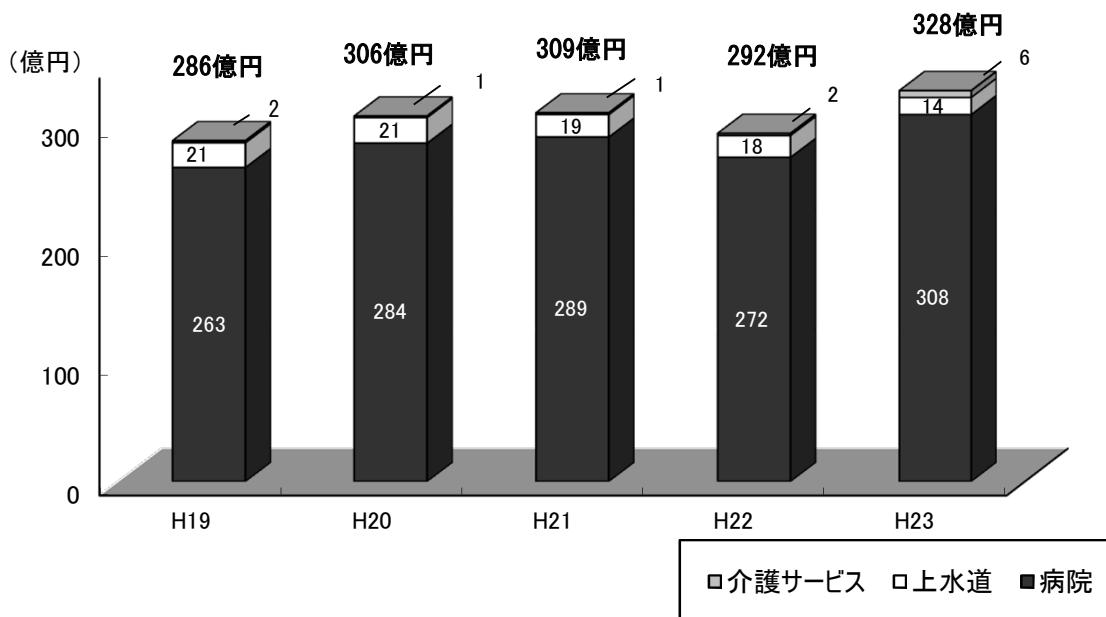
事業別にみると、病院事業が307億77百万円で最も多く、全体の93.9%を占めている。次いで上水道事業14億33百万円、介護サービス事業5億65百万円となっている。

【累積欠損金の推移】

(単位：百万円・%)

事業	年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度(A)	23年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		2,071	2,145	1,879	1,831	1,433	△398	△21.7
下水道		0	0	0	0	0	0	0.0
病院		26,336	28,376	28,891	27,190	30,777	3,587	13.2
ガス		0	0	0	0	0	0	0.0
介護サービス		171	128	142	171	565	394	230.4
合計		28,578	30,649	30,912	29,192	32,775	3,583	12.3

図3 累積欠損金の推移



累積欠損金：法適用企業において、営業活動によって損失（赤字）を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金等によってもなお補填ができなかった各事業年度の損失（赤字）額が累積したものをいう。

## 6 建設投資額 342億68百万円（67億44百万円増、24.5%増）

平成23年度の建設投資額は342億68百万円で、前年度に比べ67億44百万円（24.5%増）増加している。

事業別では、上水道事業（簡易水道を含む）が122億52百万円で最も多く、全体の35.8%を占めている。次いで下水道事業が102億48百万円、病院事業が93億3百万円となっている。

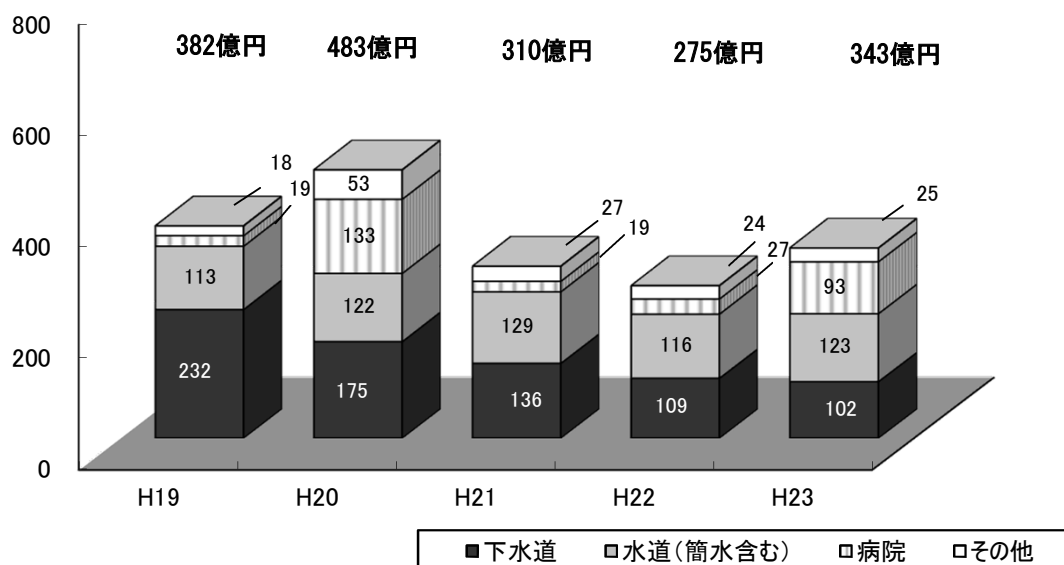
【建設投資額の推移】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度(A)	23年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		10,425	11,443	12,305	11,437	11,962	525	4.6
簡易水道		910	774	552	124	290	166	133.9
病院		1,881	13,279	1,887	2,715	9,303	6,588	242.7
ガス		1,193	1,781	1,454	1,350	1,470	120	8.9
下水道		23,240	17,488	13,562	10,861	10,248	△613	△5.6
と畜場		-	-	-	-	-	-	0.0
宅地造成		567	3,421	1,147	892	755	△137	△15.4
観光施設		3	-	-	-	-	0	0.0
駐車場整備		0	0	49	104	0	△104	△100.0
市場		6	56	18	13	16	3	23.1
介護サービス		0	11	32	28	224	196	700.0
合計		38,225	48,253	31,006	27,524	34,268	6,744	24.5

図4 建設投資額の推移

（億円）



## 7 企業債（地方債）現在高

**6,295億60百万円（155億18百万円減、2.4%減）**

平成23年度末の企業債現在高は6,295億60百万円で、前年度に比べ155億18百万円（2.4%）減少している。

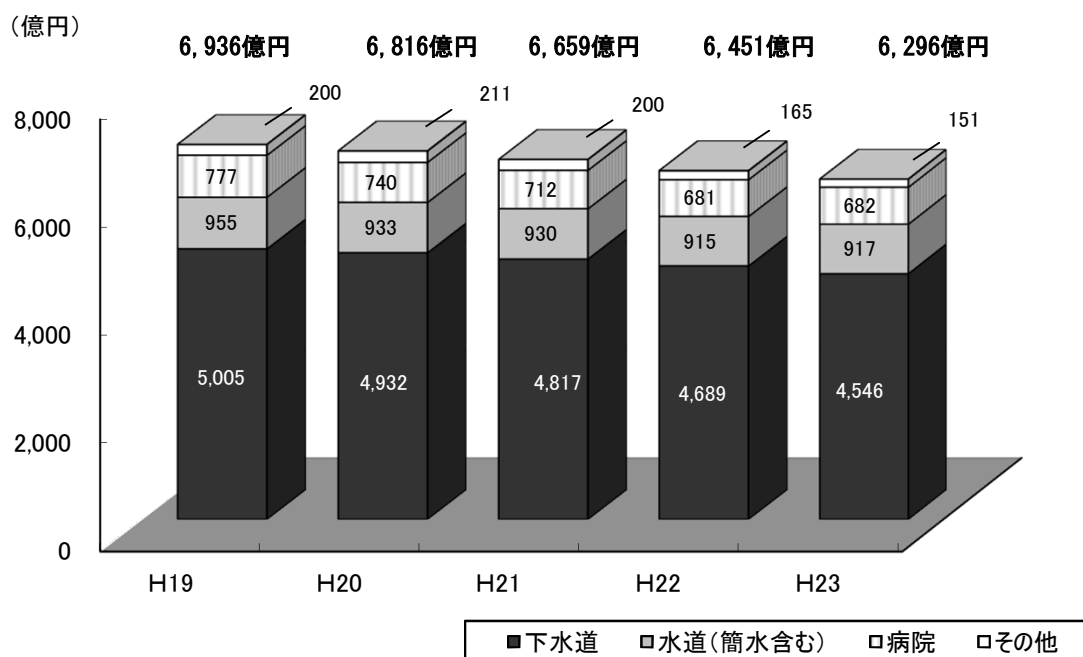
事業別では、下水道事業が4,545億72百万円と最も多く、全体の72.2%を占めている。次いで水道事業（簡易水道を含む）916億63百万円、病院事業681億99百万円となっている。

【企業債（地方債）現在高の推移】

（単位：百万円・%）

事業	年度	平成19年度	20年度	21年度	22年度(A)	23年度(B)	(B)-(A)	増減率
上水道		86,800	84,633	86,575	85,311	85,540	229	0.3
簡易水道		8,697	8,618	6,418	6,215	6,123	△92	△1.5
病院		77,650	74,042	71,216	68,078	68,199	121	0.2
ガス		4,943	4,427	3,941	3,503	3,105	△398	△11.4
下水道		500,483	493,166	481,740	468,938	454,572	△14,366	△3.1
と畜場		-	-	-	-	-	0	0.0
宅地造成		6,173	8,722	9,018	6,912	6,469	△443	△6.4
観光施設		32	-	-	-	-	0	0.0
駐車場整備		4,634	4,124	3,493	2,934	2,406	△528	△18.0
市場		475	406	335	258	178	△80	△31.0
介護サービス		3,734	3,454	3,173	2,929	2,968	39	1.3
合計		693,621	681,592	665,909	645,078	629,560	△15,518	△2.4

図5 企業債（地方債）現在高の推移



## 8 他会計繰入金

333億22百万円（30億38百万円減、8.4%減）

他会計繰入金は333億22百万円で、前年度に比べ30億38百万円（8.4%減）減少している。

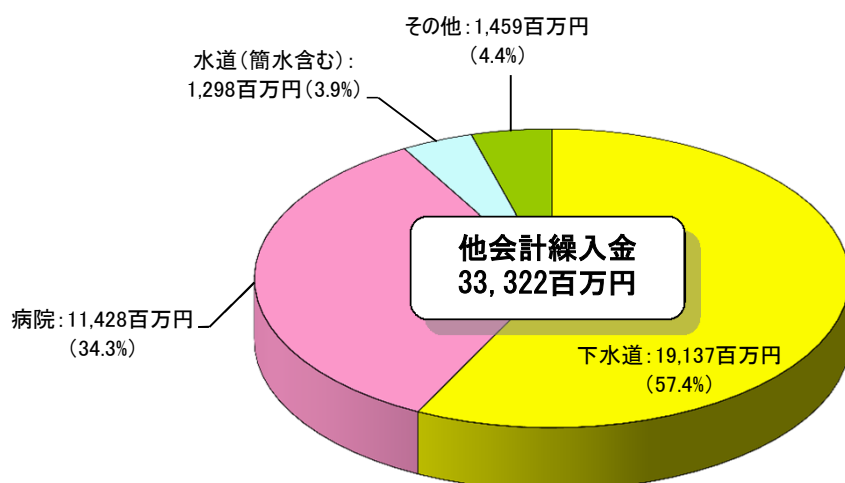
事業別では、下水道事業が191億37百万円と最も多く、全体の57.4%を占めている。次いで病院事業114億28百万円、水道事業（簡易水道を含む）12億98百万円となっている。

【他会計繰入金の推移】

（単位：百万円・%）

事業		年度	平成22年度 (A)	平成23年度 (B)	対前年度増減 (B)-(A)	増減率
法適用事業	上水道		1,264	1,014	△ 250	△ 19.8
	下水道		4,275	4,024	△ 251	△ 5.9
	病院		9,973	11,428	1,455	14.6
	ガス		9	17	8	88.9
	介護サービス		170	200	30	17.6
	小計		15,691	16,683	992	6.3
法非適用事業	簡易水道		254	284	30	11.8
	下水道		17,062	15,113	△ 1,949	△ 11.4
	と畜場		—	—	0	0.0
	宅地造成		2,421	237	△ 2,184	△ 90.2
	観光施設		—	—	0	0.0
	駐車場整備		557	556	△ 1	△ 0.2
	市場		47	109	62	131.9
	介護サービス		328	340	12	3.7
小計		20,669	16,639	△ 4,030	△ 19.5	
合計			36,360	33,322	△ 3,038	△ 8.4

図6 平成23年度他会計繰入金の状況



その他：ガス事業、宅地造成事業、駐車場整備事業、市場事業、介護サービス事業